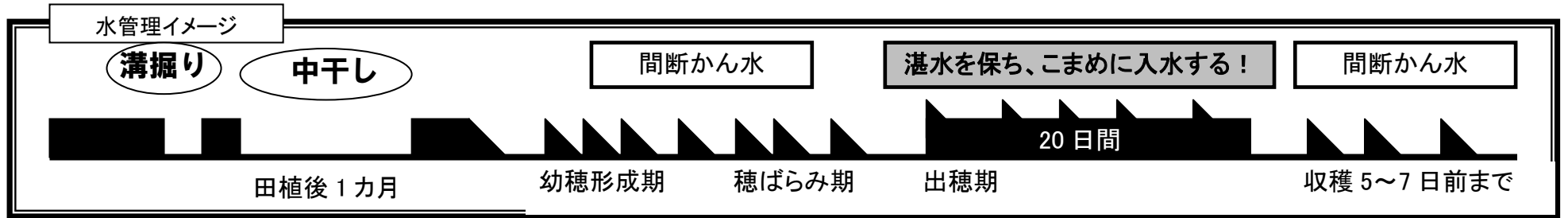


平成23年度品質向上対策：MN(溝掘り・中干し)運動 中干し開始の目安は「田植えの1カ月後」



まずは溝掘りから！

6月4日(土)～11日(土)までには、「溝掘り」をして中干しの準備をしましょう！

1. 溝掘りりの効果

- ① 中干しをタイミング良く行い、その効果を高める。
- ② 間断かん水や出穂後20日間の湛水などの水管理を効率的に行える。



溝の掘り方が不十分！
(すぐに崩れて埋まってしまう)

2. 溝掘り作業の留意点

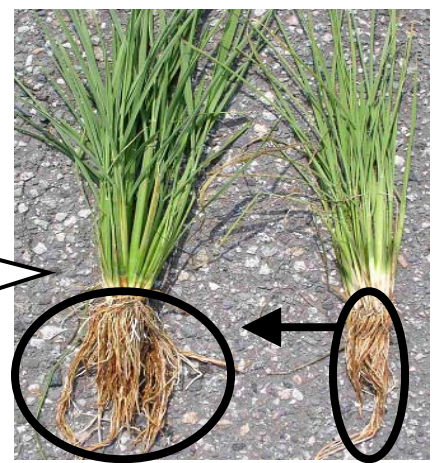
- ① 溝掘り前に軽く田干しする。
- ② 15条間に1本程度の溝間隔で設置する。
- ③ ほ場の溜まり水が溝に流れるように工夫する。
- ④ 溝は必ず水吐尻に連結する。

中干しを適期に始める(遅れないこと)！

1. 中干しの効果

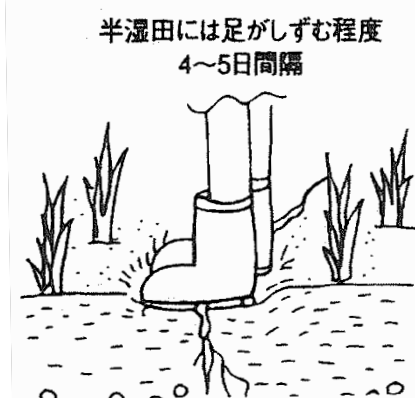
- ① 土中有害ガスの発散
- ② 根の伸長促進
- ③ 弱勢の茎の発生抑制(品質低下防止)
- ④ 倒伏に強くなる
- ⑤ 収穫時のほ場の硬さ確保

中干しを行なうことで、根量が多くなる！



2. 中干し開始時期の留意点

- 3～5日間、田面に小さな亀裂が入り、足が沈まない程度に干しましょう。また、同時に溝の手直しを行いましょう。
- 砂壤土などでは、強い中干しは行なわないように注意しましょう。



半湿田には足がしむ程度
4～5日間隔



乾田では弱いヒビが入っている
2～3日間隔



極端な中干しでは、かえって稲を傷めるので注意!!!

◎エスアイ加里特号の施用 加里入り土づくり資材を未施用の場合

6月20日～25日頃にエスアイ加里特号 10kg/10a

を施用し、気象変動に強い頑丈な稲体にしましょう！